

COLUMN

鎌倉の猫事情
今までのお話 その四
(亡きシュガーの独白より)

あの頃は本当に、この家は明るい笑いに満ちていました。次々生まれてくる可愛い子猫たちとその子たちを追い掛け回す母猫シーピー。一日に何度もその子猫たちの点呼をとる女主人の叫び声。なにしろ悪戯っ子たちは、てんで勝手に遊んでいるうちに、ベッドの隙間に落ち込んで動けなくなったり、カーテンの紐にぐるぐる巻きになって死に掛けていたり、一度なんか一つ二つ・何度数えても一匹足りない。女主人は青くなって何度も何度もベッドの下、押入れの隅、引出しの中まで探していました。そうしたらその最後の一匹は、枕に掛けたカバーの中ですやすや眠っていたのですよ。かれこれ一時間も、もちろん主人は枕の下を何度も確かめていましたが、まさか枕の中で眠っているとは気づきません。三度目に枕を持ち上げたとき、枕が少しいつもより重いので気がついたんです。ほっとするやら、がっかりするやら、その時の女主人の顔ったら…



それが今ではすっかり寂しくなつて。あの向こうっ気の強いお婆までが、先月、とうとう亡くなって今じゃ写真の中に納まって、お線香に燻されてますよ。それでもそろそろこちらに来る頃だから、私はとっても楽しみにも思ってます。どこに居たって長年の馴染みの者には会えるつてのは嬉しいもんですからね。あのお婆は随分私のことを相手にしてくれました。お婆は人にだって猫にだって何かあれば食べさせるのを楽しみにしていましたからね。よくご飯時はテーブルの上に招待してくれたもんです。それでも、いつでも甘い顔ばかりじゃなかったですよ。お婆が自分の領分と決めている寝床やあちこちにちょっとばかり顔を見せようもんなら、棒切れ振り回して追い出されたもんです。知り合いの猫仲間と聞くと、やっぱり家の婆さんに同じ目にあつたとかで、どうやら婆さんとはそういうものらしいと、猫たちは承知したもんです。私は16年もこの家にいましたからね、最後は私も年を取って、婆さん同士、なんとなくわかるところもあってね。若いもんが遊びに出掛けたりすると、一緒に日長居眠りしながら留守番してました。よく独り言も聞いてあげたんですよ。そうすると機嫌が良くなってまぐろの切れっ端なんかをご相伴させてくれましたからね。私もお婆も赤みのまぐろが大の好物だったんです。

あら、まあ、随分のんびりと思ひ出話なんかして、この次はこの家のあの幸せな猫一家がどんな運命を辿ったか、お話することに致しましょう。
to be continued



飛翔

High

と、すると、ずいぶん長い間空を飛んでいたわけだ。その間、色んな人に会った。ずいぶんと久方ぶりの人に会った。シャプリンにも会った。自慢の長い髪をなびかせて気持ちよさそうに飛んでいた。彼女は、とても飛ぶのが上手だ。追いかけてよと、目一杯手足を広げて掻いてみたけど全然追いつけない。そう、思っているうちにシャプリンはどんどん遠くなっていった。本当に飛ぶのが速い。そういえば彼女は水泳部で、高校は3年間泳いでばかりいた。クロールが得意だった。そのせいで飛ぶのも上手いのかな。あきらめよう。そう、思っで見送っていると、馴染みの悪魔が、ほうきに跨って、猫と一緒に飛んできた。ほうきは魔女が乗るもので悪魔のものじゃない。それに、猫が手足伸ばして飛んでる姿はまったく間抜けで可笑しい。思わず吹き出しそうになったら、落っこちそうになってこらえた。うちの猫も飛ぶのかな？ まさか、悪魔がこっちに気がついた。何か話しかけたそうにほうきの先に、手をかけた。いやいや、今日はこっちが勘弁だ。そう思って体を斜めにするよ、すーっと嘘のように体が流れて行った。今度は気持ちよく飛んでいる。方向を変えたせいで今度は地上が見えてきた。町が見える。ああ、なんかとても懐かしい町だ。そうか、あれは私が生まれた町だ。黒い屋根の並ぶ町。夕方になると薄暗くって、泣きたくなるほど淋しい町。朝になって日が昇ると色んな物売りの声をする。ああ、懐かしくしょうがない。あの町にもう一度帰りたい… そう、思っしんみりしていると、ロバを引いた物売りの男が横をゆっくり通り過ぎて行く。そうか、それでわかった。



こうして夢の中で飛びながら思いついた人に会ったり見たいものを見たりしてたんだった。だったらもっと会いたい人が、あの人にもう一度会いたい、それに…目が覚めた。変な欲を出すからだ。今度はもっと上手く飛ぼう。あれ？ 誰かが大声で呼んでいる。あれが物売りの声に聞こえてたのか。と、すると、ずいぶん長い間眠ってたんだな。

Milk Hall Times

ミルクホールタイムス定期購読者募集!

ミルクホールタイムス 総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」 No.001 ~ No.100 ¥1800

ミルクホールタイムス創刊号から100号まで全てを編集した、ミルクホールタイムス総集編です。好評連載中の「鎌倉の猫事情」が第一話から前編最後まで掲載されています。ミルクホール30年の楽しめる本になっています。タイムス購読とあわせてご利用頂ければ幸いです。



ミルクホールタイムスは、毎月25日の定期刊行しております。定期購読の申し込みについては、当社経費の為年間1500円を、頂いております。定期購読お申し込みの方へは、毎月25日に発送致します。メール、FAX、お葉書などのお申し込みをお待ちしています。

年間購読料 ¥1500

定期購読お申し込みのお客様には、郵便振替用紙を同封して郵送させていただきます。



ミルクホール
〒248-0006
鎌倉市小町2-3-8

PHONE
0467 - 22 - 1179
FAX
0467-24-9537
e - mail /

info @ milkhall.co.jp



WANTED

ご希望の方は、ミルクホールにご連絡の上、簡単な履歴書をお持ち下さい。

HISTORY

場所の記憶 23

アルバイト及びスタッフ募集中!

HALL ウェイター・ウェイトレス
BAR バーターンダー・調理補助

男女不問・18歳以上
土日・祝日を含み 週3~5日



LIVE

ミルクホールでは、第三土曜日の夜にライブを入れて、楽しんで頂いていますが、4月は都合により第四土曜日に変更致しました。

4/26 19:30~

琢磨 仁 (Jin Takuma) by HALF MOON
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)

土曜日の夜のミルクホールのBAR TIMEをハーフムーンの優しい歌声でお楽しみ下さい。

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

<http://www.e-half-moon.com/>



KAMAKURA

カトリック雪ノ下教会 その3

今から360年前、元和9年、鎌倉で5人のキリシタンが捕縛されました。その場所は極楽寺村の海岸ではないかと思われます。元和9年(1623年)江戸殉教の15名の中に含まれていた鎌倉キリシタン、ヒラリオ孫左衛門等の顕彰ミサが、1982年6月20日カトリック雪ノ下教会において行われています。江戸浅草と鎌倉との関係は天正18年7月、徳川家康が豊臣秀吉から小田原北条氏の旧領をもらい、江戸に入るために鎌倉を通ったことから始まりました。その後家康の引退後、三代將軍家光の時代にキリシタン迫害がいつそう激しくなりました。弾圧が激しくなるに従って、江戸浅草近在のキリシタンたちが親戚を頼って相模国極楽寺村や、小袋谷村に移って来たようです。そして江戸浅草から神父や伝道士たちが巡回するようになり、元和9年、フランシスコ・ガルベス神父が鎌倉で捕われました。結局、小袋谷村近辺にキリシタン伝道所があったのは、わずか9年間ぐらいのことでした。小袋谷村あたりにあったキリシタン伝道所の責任者ヒラリオ孫左衛門夫妻と江戸浅草から巡回中のフランシスコ・ガルベス神父それに看傍ジョアン長左衛門、同宿ペトロ喜三郎の5人が、懸賞金目当てに密告され、極楽寺村の海辺で逮捕され、江戸は小伝馬町の牢屋敷へと送られました。棄教しない者は、火刑、斬首、磔刑などの残酷な刑に処せられ、その縁に繋がる者まで、ことごとく罪に問われ、その後も隠れキリシタンに対する厳しい審問が末代まで行われたということです。この辺りで殉教者が出たのは、鎌倉と静岡だけだったそうです。鎌倉は昔から教会とは縁の深かった場所なので、今日では、日曜のミサの鐘が美しい音色で心和ませてくれています。

鎌倉キリシタン顕彰会資料より

Milk Hall New 和の Interior テキスタイル

ミルクホールオリジナル 和のインテリア

大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を素材に、1枚の大きな布を作りました。
お部屋のブラインドカーテン、ソファやベッドカバーなど使い方色々です。



12
さや形
縷子の地紋などには最高といわれる。小さくても美しいが大柄になると益々冴え

新製品

✂ インテリア
テキスタイル

w60 cm H170 cm

表・ちり緬 裏・紬他
¥15000より

w100 cm H200 cm

表・ちり緬 裏・紬他
¥32000より

他 銘仙・大島紬・お召しなど

✂ 刺繍入半衿

夢ニデザインの半衿に習い、ミルクホールオリジナルデザインの、刺繍入り半衿を作りました。少し奇抜に見える半衿も、渋い着物を一層引き立てることも・・・コーディネートは貴方次第です。上級編に挑戦してみては？

半衿 ¥900より
帯揚 ¥1000より

¥6000より

✂ 帯・つくり帯

各種帯 新入荷

大正・昭和初期名古屋帯
半幅各種 名古屋帯 ¥2000より

✂ 半衿・帯揚

各種半衿 新入荷

鹿の子絞りや、ちり緬、小紋、矢がすり、銘仙など、昔の着物をほどいて半衿に仕立てました。

✂ 着物・アンティーク古着

大正・昭和の着物新入荷

大正時代の華やかな絵柄の着物入荷しました。銘仙やお召しの大正情緒あふれる着物や羽織です。その他、田舎風の木綿紬の着物、昔の本物の大島紬など買やすい価格で多数入荷しました。

久留米紬 ¥7800より
銘仙着物 ¥3800より
お召し ¥4800より

人気の大島紬
¥9800より

✂ かんざし

ミルクホール製
花のかんざし

大正・昭和初期の着物の生地で花のかんざしを作りました。

木のかんざし ¥1800より
花のかんざし ¥2500より

♥ アクセサリー

春・夏用アクセサリー
入荷しました。
ハート型指輪・ピアス
香水瓶ペンダントなど

ANTIQUE

♠ 和洋家具

明治・大正・昭和初期の
日本の和洋家具です

明治初期の衝立新入荷

大正時代京筆筒 三段入荷
大正時代ガラス水屋
明治時代衣装筆筒 抽斗2段
明治・大正時代小筆筒各種
昭和初期デスク色々
明治～昭和文机各種
大正時代ガラスケース

♣ 古陶磁

伊万里・古伊万里・明治べろ藍・
大正色絵等々買いやすい価格で入荷

古伊万里染付鉢
幕末伊万里そば猪口
江戸中期古唐津水盤
明治銅版小皿 文明開化絵皿
伊万里輪茶碗・そば猪口各種
古伊万里豆皿・なます
明治瀬戸石皿・鉢

♣ 古民芸・骨董
大正時代鏡台入荷

道教の壁画 女人像
大正時代ランプ
明治染付タイル
李朝盆・根来碗
灯籠台天燈器
浮世絵硝子絵
アフガン石仏
古瓦各種

和洋家具
古陶磁
アンティーク
古民芸
アクセサリー
古布・帯



◆ アンティーク
大正・昭和初期
ランプシェード入荷

額入り鏡各種入荷
ハート型額入り鏡
大正・昭和初期色ガラス各種
明治・大正のガラス各種
鉄製ディスプレイ用小物台
浮世絵ガラス絵入荷
レプリカシェード ¥5800より



夢ニデザインの
半襟の図案

当時雑誌の付録となりました。娘さん達はこれらの図案をもとに刺繍などして自分の半襟を作っていました。



た
り
あ